

新規事業採択時評価の結果

平成 16 年 3 月

担当課 航空局飛行場部計画課 大都市圏空港計画室

(空港整備事業)

(担当課長名)

(室長 戸田和彦)

事業名	東京国際空港再拡張整備事業					
所在地	東京都大田区	事業主体	関東地方整備局・東京航空局			
事業概要	滑走路長 2,500mの滑走路を、現 B滑走路と平行に新設する。					
事業期間	平成 16～21 年度	総事業費	7,800 億円			
目的・必要性	航空需要の増大に対する円滑かつ効率的な航空サービスを提供することを目的に、我が国の航空輸送ネットワークの健全なる発展を目指す上で、その要となる東京国際空港の容量拡大を通じボトルネックの解消を図る。					
評価の基となる 需要予測	平成 19 年度 6,070 万人、平成 24 年度 7,320 万人、 平成 29 年度 8,030 万人、平成 34 年度 8,550 万人					
費用 対 効果 分 析	貨幣換算した主要な費用		建設費、再投資費			
	貨幣換算した主要な便益		時間短縮効果、費用低減効果、供給者便益			
	費用の生じる時期		平成 16 年度			
	効果の生じる時期		平成 21 年度			
	社会的割引率	4%	現在価値化の基準年度		平成 15 年度	
	総費用	7,300 億円	総便益		47,400 億円	
	B / C	6.5	B - C	40,100 億円	EIRR	18%
	定量的・定性的に 考慮した費用・効果		羽田の発着容量のオーバーフロー分について、他輸送モードへの転換の回避（発着枠増大に伴う国際定期便の就航も考慮）			
地元等との調整状況 地域開発戦略との整合性 等		国土交通大臣と首都圏 8都庁市の首長をメンバーとする「羽田空港再拡張事業に関する協議会」をこれまでに 4回実施。				
事業実施によるメリット・デメリット		羽田空港の発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利用者利便の向上が図られるとともに、その発着余裕枠を活用して国際定期便の受入れが可能となる。				
日程・手続		平成 21 年供用開始				
関係者の意見等		経済界、航空業界、関係自治体等多方面から強い要望がある。				
備考						

新規事業採択時評価の結果

平成 16 年 3 月

担当課 航空局飛行場部計画課

(担当課長名) (課長 茨木康男)

(空港整備事業)

事業名	福江空港 ILS 双方向化事業					
所在地	長崎県福江市	事業主体	長崎県			
事業概要	福江空港において ILS の双方向化を行う					
事業期間	平成 16 年度～平成 19 年度	総事業費	15 億円			
目的・必要性	福江空港では、5 月～7 月にかけて視界不良(霧等)と ILS が設置されていない側からの進入となる南風の増加により欠航が発生しているため、ILS の双方向化によりその改善を図る。					
評価の基となる 需要予測	航空利用者 19 万人(平成 12 年～14 年の平均)					
費用対 効果 分析	貨幣換算した主要な費用	施設整備費、施設更新費、維持管理費用				
	貨幣換算した主要な便益	当該空港着陸予定機のダイバートの回避 当該空港着陸予定機の欠航の回避 当該空港からの出発便のキャンセル回避 当該空港着陸・出発機の遅延の回避				
	費用の生じる時期	平成 16 年度				
	効果の生じる時期	平成 20 年度				
	社会的割引率	4%	現在価値化の基準年度	平成 15 年度		
	総費用(割引後)	19 億円	総便益	28 億円		
	B/C	1.5	B-C	9.3 億円	ERR	8.3%
	定量的・定性的に 考慮した費用・効果	5 月～7 月の就航率が現状(平成 12 年～14 年の平均)の 93.3% から 3.2% 程度の上が見込まれるなど、空港の信頼性が向上する。空港の信頼性が向上することから、さらなる交流人口の増加が見込まれ、観光・ビジネス等地域経済の発展が期待される。乗客に不安感を与える、空港上空での旋回や降下上昇を繰り返す回数大幅に減少し、利用者の航空機に対する安心感が向上する。上空待機等によるフライト時間が減少することによる、NOx・CO2 等の排出ガスの削減や騒音影響の軽減などが見込まれる。				
地元等との調整状況 地域開発戦略との整合性 等	長崎県市長会、長崎県商工会議所連合会等から要望がなされている。五島は、美しい自然景観と遣唐使・倭寇・キリシタン等多くの文化財に恵まれており、それらを活かした観光、イベントなどの観光産業は基幹産業となっている。美しい自然を生かして、毎年 5 月から 7 月にかけてアイアンマンジャパントライアスロンやトライアスロン・イン五島列島などが開催され、県外からも多くの観光客が訪れているが、その多くを迎える福江空港の信頼性向上は観光を中心とした地域づくりを目指す五島の発展に寄与する。 長崎県離島振興計画及び新市建設計画の基本方針では、五島の特色を生かした交流人口の拡大と就業機会の拡充、そのための主要施策として公共交通網の整備と観光を中心とした地域づくりの推進が挙げられており、空港の信頼性向上は重点的な施策の 1 つに位置づけられている。					
事業実施によるメリ ット・デメリット	福江空港に到着する航空機の欠航・遅延等の減少は、当該機材を用いた出発便の欠航や遅延の減少を通じ、その他の九州地方の離島空港等の信頼性を向上させることにもなる。					
日程・手続き						
関係者の意見等	エアーニッポン(株)から福江空港の ILS 施設の双方向化の要望がなされている。					
備考	事業期間等は本評価のために仮に設定したもの。					